

2020年度 慶應義塾高校【数学】大問4

2つの店A、Bへ順に行き、それぞれの店で2種類の商品X、Yをいくつか買った。

- ①商品Xについて、店Aでは定価から10%引き、店Bでは定価から5%引きされていた。
- ②商品Yについて、店Aでは定価で売られていたが、店Bでは1つあたり50円引きされていた。
- ③店Aでは9600円、店Bでは8600円を支払ったが、
合計は商品をすべて定価で買った場合より1600円少なかった。
- ④2つの店で買ったものをすべて数えると、商品Xは20個、商品Yは28個あった。
- ⑤商品Xと商品Yの1個ずつの定価の合計は850円である。

消費税は考えないものとし、支払った金額は四捨五入などされていないものとして次の問いに答えよ。

(1)

商品Xの定価を求めよ。

(2)

店Aで買った商品Xと商品Yの個数を求めよ。

